

令和5年度

自)令和 5年 4月 1日

至)令和 6年 3月31日

事業計画書及び収支予算書

目 次

事業計画書	-----	1	頁
収支予算書	-----	9	頁
予定貸借対照表	-----	12	頁

令和 5 年 度

一般財団法人さっぽろ水道サービス協会

事業計画書

I 事業活動方針

(1) 事業運営

当協会では、令和元年度から事業運営の指針である第二次5カ年計画「中期経営計画2023」の各取組を進めている。

計画には、今後の協会運営に係る3つの重点施策として「人材の確保・育成」、「事業の広域化」、「業務領域の拡大」を掲げており、目標達成に向けた取組を継続していく。

なお、令和5年度は「長期構想2023」及び「中期経営計画2023」の最終年度にあたる。この「長期構想2023」で掲げている「札幌市水道局とのパートナーシップ推進」が、今後、益々重要になると考えており、すでに策定作業に入った同局の「次期・札幌水道ビジョン」が令和7年度（2025年度）を予定計画開始年度としているため、当協会の次期中長期計画も共同歩調を図り、令和7年度（2025年度）からの計画とする予定である。このため、令和5年度及び令和6年度は、引き続き、これまでに洗い出してきた課題等の解決を図るとともに、次期計画の策定を見据えた事業運営を進める。

(2) 経営概況

当協会の事業運営を取り巻く環境は、受託業務への競争原理の導入拡大や民間の参入などにより、引き続き厳しい状況が続くことが予想される。

このような状況の中、経営の課題である自主事業の拡大及び事業の広域化については、新型コロナウイルス感染症法の位置づけの変更、営業活動等の制限緩和が期待できることから、コロナ禍以前の活動を取り戻すため、営業活動の活発化や積極的な情報の発信により、事業の拡大に向けた取り組みを強化する。

また、業務の効率化や経費の抑制を最大限に図りながら着実に業務を遂行するとともに、令和4年度に引き続きドローンによる水管橋の点検など、ICTの活用にも取り組み、業務精度の一層の向上に努める。

さらに、事業の拡大に柔軟に対応するため、計画的な職員採用や内部登用を進め、優秀な人材を確保するとともに、研修やOJTの更なる強化、技術・知見の習得に向けた札幌市水道局への研修派遣を継続して行うことにより効果的に人材を育成する。

本年度の事業運営に係る予算規模は、「上下水道料金の督促収納業務」の対象地区の減少が見込まれる一方、「管路維持管理業務」において、弁栓音聴作業等が増加すること、また、「西野・宮町浄水場管理業務」及び「水道水質監視・管理業務」においては、西野浄水場の耐震化工事完了に伴い、減少していた業務量が従来水準に戻る見込みであることから、前年度を上回る見込みとなっている。

II 事業の概要

令和5年度は、調査研究・普及宣伝事業、一般事業、受託事業の3事業を実施する。

調査研究・普及宣伝事業は、公益目的支出に位置付けた事業として、札幌市水道事業についてのPR等を行う。

一般事業は、水道技術者等の教育指導、簡易専用水道の検査の2事業を行う。

受託事業は、札幌市水道局から受託した事業を主体とし、11事業を行う。

これらの事業を、3部10課（水道記念館を含む。）19係、職員数263名の体制で実施する。

1 調査研究・普及宣伝事業

水道記念館における各種イベントの企画・開催、リーフレット・パンフレットの配布、グッズ販売等のほか、ホームページ等を活用し、札幌市水道事業についてのPRを行う。また、冬季の閉館期間中においては、幼稚園・保育園への出張教室を実施するほか、地下歩行空間などでイベントを開催し、水道事業の普及宣伝活動を行う。

	令和5年度	令和4年度	増減
出張教室 参加・利用者見込数（人）	450	450	0
実施箇所数（箇所）	15	15	0
水道ひろば 参加・利用者見込数（人）	8,000	8,000	0
キャラクターグッズ販売見込数合計（個）	2,000	2,560	△560
缶バッジ	1,360	1,440	△80
タオル	320	720	△400
サッポロスマイルバッジ	320	400	△80

2 一般事業

(1) 水道技術者等の養成に必要な教育及び指導訓練に関する事業

ア 独立行政法人国際協力機構(JICA)が主催し、札幌市水道局が実施する研修会において講師を派遣し、実習指導等を行う。

イ 公益社団法人日本水道協会が主催し、札幌市水道局が実施する講習会において講師を派遣し、実習指導等を行う。

ウ 公益財団法人日本建築衛生管理教育センターが実施する「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく国家資格取得講習会に講師を派遣し、講義を分担担当する。

エ 道内の水道事業体職員の基礎的な技術力の向上と広域的な連携の強化を目的として、札幌市水道局との共催により「水道事業体合同技術研修」を実施する。

	令和5年度	令和4年度	増減
講習会等見込講師派遣数合計（人）	42	42	0
JICA課題別「上水道施設技術総合(B)」コース	12	12	0
水道技術管理者資格取得講習会	3	3	0
建築物環境衛生管理技術者講習会	5	5	0
貯水槽清掃作業監督者再講習会	3	3	0
水道事業体合同技術研修	19	19	0

※見込講師派遣数は延べ人数である。

(2) 簡易専用水道の検査に関する事業

水道法に定める簡易専用水道(有効容量10m³を超える貯水槽)の管理について、設置者等の依頼に基づき検査を行う。

	令和5年度	令和4年度	増減
検査見込件数合計(件)	1,545	1,570	△25
現場検査見込件数	1,181	1,200	△19
書類検査見込件数	364	370	△6

3 受託事業

(1) 上下水道料金の督促収納に関する事業

上下水道料金の未納者宅を個別に訪問し、未納分の早期解消促進と今後の納期内納付の奨励を行う。

令和5年度の対象区域は、前年度からさらに1区(白石区)減少し、4区(中央区・北区・東区・西区)となる。なお、札幌市水道局の収納業務の見直しにより、令和5年度末をもって当業務は廃止となる。

	令和5年度	令和4年度	増減
督促収納見込件数(件)	33,000	47,000	△14,000
取扱見込金額(円)	245,000,000	330,000,000	△85,000,000

(2) 水道記念館の管理運営に関する事業

水道記念館の管理運営及び藻岩浄水場の施設見学案内並びに水道事業のPRなどを行う。

(令和4年度 開館期間 4月16日(土)～11月15日(火))

(令和5年度 開館予定期間 4月15日(土)～11月15日(水))

	令和5年度	令和4年度	増減
水道記念館目標来館者数(人)	110,000	110,000	0
さっぽろ水道フェスタ目標来館者数	10,000	10,000	0
水道記念館秋まつり目標来館者数	10,000	10,000	0
浄水場見込見学者数	8,000	8,000	0

(3) 地下埋設物・給水装置台帳の情報提供管理に関する事業

各種工事関係者等の問合せや相談に応じるとともに、申請に基づき地下埋設給配水管及び給水装置台帳の情報を水道局オンラインシステムより出力し提供する。また、システムに登録されている給水装置台帳の原本を逐次整理し保管する。このほか、水道局資材センターの庁舎管理(補助)を実施する。

	令和5年度	令和4年度	増減
地下埋設物情報出力見込枚数(枚)	34,700	34,400	300
管理図・給水装置台帳情報出力見込枚数(枚)	96,400	91,900	4,500
給水装置台帳等保管管理見込件数(件)	17,200	17,400	△200

(4) 道路占用許可申請等の受付入力管理に関する事業

水道局及び給水装置工事事業者から提出された道路占用許可申請入力表等を受付し、提出書類に不備があった場合には、適切な助言・指導を行った後、道路管理システムにデータを入力し、道路管理者の許可書等の発行を行う。

	令和5年度	令和4年度	増減
入力見込箇所数（箇所）	6,300	6,700	△400

(5) 小規模貯水槽水道の衛生管理改善指導に関する事業

札幌市内における小規模貯水槽水道（有効容量10m³以下の貯水槽）について、札幌市水道局貯水槽水道管理指導要領等に基づく衛生管理状況の調査を行い、不備のある施設に対し改善指導等を行う。

	令和5年度	令和4年度	増減
調査見込件数（件）	1,400	1,400	0

(6) 給水装置工事の検査に関する事業

水道局に申請された給水装置工事について、設計審査後の受付からしゅん功検査における書類及び現地検査など一連の業務と、これに付随する事務処理を行う。

	令和5年度	令和4年度	増減
検査見込件数合計（件）	34,000	34,000	0
中央区	5,000	4,500	500
北区	5,000	5,000	0
東区	4,000	4,500	△500
白石区	4,500	4,500	0
厚別区	1,700	1,800	△100
豊平区	4,000	4,000	0
清田区	1,500	1,500	0
南区	2,300	2,000	300
西区	4,000	4,000	0
手稲区	2,000	2,200	△200

(7) 配水管路の維持管理に関する事業

送・配水管における弁室、水管橋等の点検を実施し、その劣化状況等の診断及び簡易な整備を行うとともに、給配水管の地下漏水調査を行う。

	令和5年度	令和4年度	増減
弁室点検見込数（箇所）	608	608	0
水管橋調査点検見込数（回）	1,394	1,394	0
管路巡視点検見込数（km）※	100.5	-	100.5
緊急貯水槽点検見込数（回）	546	546	0
弁筐調査点検見込数（箇所）	500	500	0
水質維持放水施設調査点検見込数（回）	388	381	7
給配水管漏水調査業務			
給配水管音聴調査見込数（km）	1,020	950	70
弁栓音聴調査見込数（km）	500	277.8	222.2
消火栓音聴調査見込数（基）	17,640	17,610	30
監視型漏水調査見込数（km）※	5	-	5
ブロック計量調査見込数（箇所）	5	5	0

※ 管路巡視点検業務及び監視型漏水調査は令和5年度より受託予定

(8) 水道技術者等講習会の運営管理に関する事業

ア 公益社団法人日本水道協会が主催する配水管の配管、接合等の実技や設計施工に関する知識の習得など、水道技術者養成のための講習会の運営管理を行う。

	令和5年度	令和4年度	増減
配水管工技能講習会 I 見込従事者数（人）	120	120	0
配管設計講習会见込従事者数（人）	19	19	0

※見込従事者数は延べ人数である。

イ 公益財団法人給水工事技術振興財団が主催する給水装置工事主任技術者試験について、その試験監督を行う。

	令和5年度	令和4年度	増減
給水装置工事主任技術者試験監督業務見込従事者数（人）	25	35	△10

(9) 浄水場の維持管理に関する事業

藻岩・白川浄水場の設備の点検整備業務及び排水処理施設運転管理業務並びに西野・宮町、当別浄水場の運転管理業務及び施設・設備の点検整備業務を行う。

ア 藻岩浄水場維持管理業務

	令和5年度	令和4年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	4,605	4,497	108
取水・浄水施設	2,835	2,868	△33
排水処理施設	1,280	1,129	151
その他業務	490	500	△10

イ 白川浄水場維持管理業務

	令和5年度	令和4年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	11,746	11,787	△41
取水・浄水施設	8,128	8,132	△4
排水処理施設	3,361	3,360	1
その他業務	257	295	△38

ウ 西野・宮町浄水場管理業務

① 西野浄水場

	令和5年度	令和4年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	2,219	2,076	143
取水・浄水施設	1,475	1,237	238
排水処理施設	270	266	4
その他業務	474	573	△99

② 宮町浄水場

	令和5年度	令和4年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	1,896	1,820	76
取水・浄水施設	1,186	1,162	24
排水処理施設	250	250	0
その他業務	460	408	52

エ 当別浄水場運転管理業務

	令和5年度	令和4年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	5,685	5,636	49
取水・浄水施設	3,615	3,606	9
排水処理施設	469	463	6
送水施設	1,227	1,216	11
その他業務	374	351	23

(10) 水道水質監視・管理に関する事業

浄水場の河川流域における水源監視、ブロック配水区域の給配水水質監視及び浄水場・河川水の水質試験（毎日試験・毎週試験、カビ臭試験など）を行う。

ア 水源監視業務

	令和5年度	令和4年度	増減
延べ監視見込回数合計（回）	16,092	13,618	2,474
豊平川等	7,186	7,168	18
琴似発寒川・星置川等	8,906	6,450	2,456

イ 水質管理業務

	令和5年度	令和4年度	増減
給配水水質監視見込延べ回数（回）	3,224	3,214	10
監視地点数	75	75	0
水質試験見込件数合計（件）	35,777	29,516	6,261
毎日試験・毎週試験	25,870	21,016	4,854
カビ臭試験	5,236	4,346	890
浄水場排水試験	274	280	△6
ヒ素調査	1,000	1,000	0
ピコプランクトン監視	316	312	4
水質データ確認	2,583	2,562	21
定量送水試験	498	-	498

(11) 配水施設等の維持管理に関する事業

配水池、ポンプ場及び送水施設（トンネル）の施設・設備の維持管理を行う。

	令和5年度	令和4年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	5,930	5,719	211
ポンプ場	3,632	3,609	23
配水池	1,789	1,589	200
トンネル	149	154	△5
配水センター	114	112	2
管理用地	38	39	△1
その他業務	208	216	△8

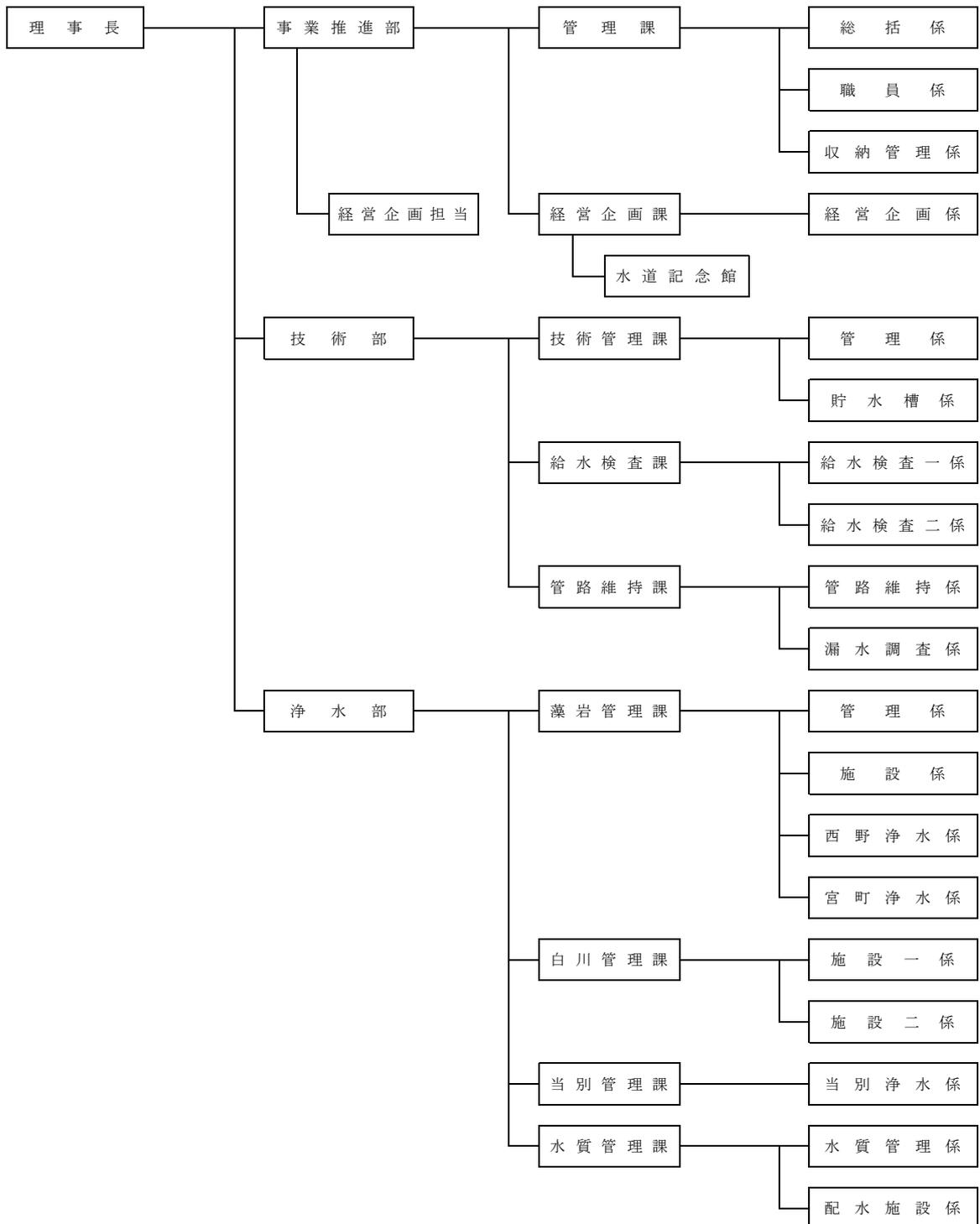
Ⅲ 組織・機構

1 組織の編成

令和5年度は、督励収納業務の縮小に伴い、収納管理担当課長を廃止することとし、3部10課により事業を行う。

2 機構図

令和5年度の機構図は、次のとおりとする。



令和5年度
一般財団法人 さっぽろ水道サービス協会
収支予算書(損益ベース)
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	31,000	90,000	△ 59,000
基本財産受取利息	31,000	90,000	△ 59,000
② 特定資産運用益	131,000	70,000	61,000
特定資産受取利息	131,000	70,000	61,000
③ 事業収益	1,792,981,000	1,701,130,000	91,851,000
調査・研究及び普及宣伝事業収益	342,000	498,000	△ 156,000
一般事業収益	16,455,000	17,041,000	△ 586,000
受託事業収益	1,776,184,000	1,683,591,000	92,593,000
④ 受取補助金等	324,000	324,000	0
受取国庫助成金	324,000	324,000	0
⑤ 雑収益	317,000	296,000	21,000
雑収益	317,000	296,000	21,000
経常収益計	1,793,784,000	1,701,910,000	91,874,000
(2) 経常費用			
① 事業費	1,570,503,000	1,521,665,000	48,838,000
役員報酬	4,955,000	4,730,000	225,000
通勤手当役員報酬分	120,000	132,000	△ 12,000
給料	573,841,000	559,259,000	14,582,000
諸手当	240,777,000	226,946,000	13,831,000
賃金	100,850,000	105,697,000	△ 4,847,000
賞与引当金繰入額	79,497,000	76,567,000	2,930,000
法定福利費	155,023,000	153,133,000	1,890,000
福利厚生費	48,706,000	47,664,000	1,042,000
通勤手当	27,191,000	25,017,000	2,174,000
通勤手当貸金分	5,539,000	5,193,000	346,000
通信運搬費	6,379,000	5,726,000	653,000
減価償却費	14,082,000	14,348,000	△ 266,000
消耗什器備品費	31,220,000	32,157,000	△ 937,000
修繕費	4,195,000	4,470,000	△ 275,000

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	1,650,000	2,174,000	△ 524,000
燃料費	8,293,000	8,607,000	△ 314,000
光熱水料費	77,000	81,000	△ 4,000
被服費	5,512,000	5,452,000	60,000
賃借料	23,107,000	21,805,000	1,302,000
保険料	858,000	948,000	△ 90,000
諸謝金	0	100,000	△ 100,000
租税公課	137,118,000	130,125,000	6,993,000
委託費	96,067,000	85,268,000	10,799,000
支払手数料	2,564,000	2,870,000	△ 306,000
交際費	15,000	15,000	0
雑費	2,867,000	3,181,000	△ 314,000
② 管理費	199,727,000	168,663,000	31,064,000
役員報酬	3,588,000	3,430,000	158,000
通勤手当役員報酬分	83,000	82,000	1,000
給料	61,092,000	54,768,000	6,324,000
諸手当	31,324,000	26,125,000	5,199,000
賞与引当金繰入額	10,373,000	9,097,000	1,276,000
法定福利費	17,639,000	16,337,000	1,302,000
福利厚生費	8,813,000	7,834,000	979,000
退職給付費用	5,000,000	0	5,000,000
通勤手当	3,518,000	2,353,000	1,165,000
研修費	14,300,000	12,842,000	1,458,000
会議費	20,000	300,000	△ 280,000
旅費	2,321,000	2,303,000	18,000
通信運搬費	1,679,000	1,731,000	△ 52,000
減価償却費	2,450,000	2,877,000	△ 427,000
消耗什器備品費	5,139,000	3,599,000	1,540,000
修繕費	200,000	200,000	0
印刷製本費	611,000	611,000	0
燃料費	203,000	202,000	1,000
光熱水料費	930,000	702,000	228,000

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
被服費	66,000	94,000	△ 28,000
賃借料	9,061,000	9,249,000	△ 188,000
保険料	260,000	205,000	55,000
諸謝金	100,000	100,000	0
租税公課	1,505,000	1,490,000	15,000
支払負担金	1,914,000	1,710,000	204,000
委託費	7,588,000	5,299,000	2,289,000
支払手数料	4,303,000	4,017,000	286,000
交際費	115,000	115,000	0
雑費	5,532,000	991,000	4,541,000
経常費用計	1,770,230,000	1,690,328,000	79,902,000
当期経常増減額	23,554,000	11,582,000	11,972,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	23,554,000	11,582,000	11,972,000
法人税、住民税及び事業税	15,568,000	11,403,000	4,165,000
当期一般正味財産増減額	7,986,000	179,000	7,807,000
一般正味財産期首残高	969,327,000	925,609,000	43,718,000
一般正味財産期末残高	977,313,000	925,788,000	51,525,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	982,313,000	930,788,000	51,525,000

(注) 1 借入金限度額 50,000千円

2 債務負担額 0円

令和 5 年度
一般財団法人 さっぽろ水道サービス協会
予 定 貸 借 対 照 表

(令和 6 年 3 月 3 1 日現在)

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	400,000	391,000	9,000
預 金	650,785,000	584,741,000	66,044,000
前払費用	1,662,000	1,952,000	△ 290,000
未 収 金	149,404,000	142,931,000	6,473,000
流動資産合計	802,251,000	730,015,000	72,236,000
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	9,992,000	9,992,000	0
預 金	8,000	8,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,941,000	3,139,000	△ 198,000
減価償却引当資産	98,417,000	100,240,000	△ 1,823,000
経営安定積立資産	120,000,000	120,000,000	0
特定資産合計	221,358,000	223,379,000	△ 2,021,000
(3) その他の固定資産			
建 物	3,262,000	1,496,000	1,766,000
建物附属設備	2,554,000	3,015,000	△ 461,000
什 器 備 品	9,423,000	13,313,000	△ 3,890,000
ソフトウェア	5,616,000	2,878,000	2,738,000
差入保証金	100,000	100,000	0
投資有価証券	99,987,000	99,977,000	10,000
リース資産	17,663,000	22,624,000	△ 4,961,000
その他の固定資産合計	138,605,000	143,403,000	△ 4,798,000
固定資産合計	369,963,000	376,782,000	△ 6,819,000
資産合計	1,172,214,000	1,106,797,000	65,417,000

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	19,707,000	14,881,000	4,826,000
未払費用	16,590,000	14,029,000	2,561,000
未払消費税等	27,016,000	23,755,000	3,261,000
未払法人税等	15,568,000	11,403,000	4,165,000
前受金	143,000	95,000	48,000
賞与引当金	89,870,000	85,664,000	4,206,000
預り金	403,000	419,000	△ 16,000
リース債務	9,218,000	8,367,000	851,000
流動負債合計	178,515,000	158,613,000	19,902,000
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,941,000	3,139,000	△ 198,000
長期リース債務	8,445,000	14,257,000	△ 5,812,000
固定負債合計	11,386,000	17,396,000	△ 6,010,000
負債合計	189,901,000	176,009,000	13,892,000
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	977,313,000	925,788,000	51,525,000
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(218,417,000)	(220,240,000)	(△1,823,000)
正味財産合計	982,313,000	930,788,000	51,525,000
負債及び正味財産合計	1,172,214,000	1,106,797,000	65,417,000